

## 4 行政評価の取組

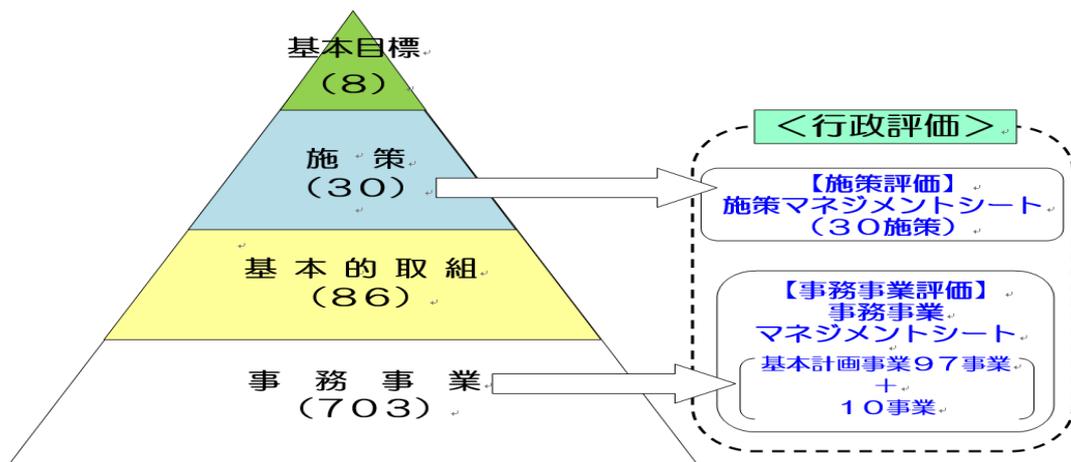
### (1) 行政評価の概要

調布市は、限られた経営資源を活用し、多様化する市民ニーズへの的確な対応を図り、持続可能で効果的、効率的な行財政運営を確立するため、PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACTION（改革・改善）のマネジメントサイクルの推進に取り組んでいます。行政評価は、市が行う施策や事務事業などについて、対象や目的を明確にしたうえで、その必要性や成果などを様々な指標により客観的に把握するとともに、有効性・効率性などの視点から評価しているものです。

具体的には、まちの将来像「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」を実現するため、基本目標から事務事業までを体系化して評価しています。こうした評価を通じて、行政活動の全体像を明らかにするとともに、評価結果に基づいた見直し、改革・改善に取り組んでいます。

令和5年度は、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の施策体系に基づき、全30施策を対象とした施策評価とともに、全703の事務事業のうち、基本計画事業97事業及び前期基本計画（令和5年度～令和8年度）から計画事業以外とした事業等が10事業あり、合計で107事業を対象とした事務事業評価を行いました。

【体系イメージ図（令和5年度行政評価（令和4年度振返り評価））】



#### 【令和5年度行政評価（令和4年度振返り評価）の重点目標】

- 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に位置付けた各施策・事業に関する振返り評価結果について、新たな基本計画の着実な推進や調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組成果の検証と併せ、各施策、事務事業の進行管理や次年度の予算編成に反映させる。
- 令和4年度までの後期基本計画に位置付けた2つのアクション（「横断的連携による施策の推進」、「調布のまちの魅力発信」）を踏まえ、4年間の取組について総括的な評価、検証を行う。
- 新たな基本計画に位置付けた施策の推進、成果向上に向けた4つの視点（「デジタル技術の活用」、「共創のまちづくり」、「脱炭素社会の実現」、「フェーズフリー」）に基づく課題や今後の取組の方向を整理することで、重点プロジェクトを横断する取組をはじめ、施策全体の効果的な推進につなげる。
- 行政評価と並行して、経常経費の縮減等につなげる観点から、事務事業等の見直し、改善に取り組む。

## (2) 評価結果の概要・総括

【施策評価】 ※詳細は、「5 分野別計画及び成果」の評価結果を参照

### ◆令和4年度振返り評価結果（対象：30施策）

令和5年度の施策評価においては、前期基本計画の施策体系に基づき、全施策について、前年度の振返り評価を実施しました。

区分	施策の評価結果	施策	割合
S	実施した取組において顕著な成果が得られた。	0	0%
A	実施した取組において予定した成果が得られた。	25	83.3%
B	実施した取組において一定程度の成果が得られた。	5	16.7%
C	実施した取組において予定した成果が得られなかった。	0	0%
D	実施した取組において成果が得られなかった。	0	0%
	計	30	100%

※令和4年度の総合評価は、コロナ禍に伴う影響をはじめ、コロナ禍における取組プロセス、取組実績及び成果を総合的に考慮して行っています。

今後も、これまでの取組実績や各施策を取り巻く状況等を踏まえながら、前期基本計画に位置付けた施策を推進していくとともに、施策の推進、成果向上に向けた4つの視点に基づく取組により、施策全体の効果的な推進につなげていきます。

さらに、基本計画の実効性を高めるため調布市における地方創生の取組を推進していくとともに、基本計画に基づくまちづくりを進めることでSDGsの目標達成につなげていく必要があります。

### ◆後期基本計画全体の振返り評価結果（対象：30施策）

令和5年度の施策評価においては、後期基本計画（令和元年度～令和4年度）を総括する観点から、後期基本計画期間の各年度の振返り評価を踏まえ、計画全体に対する総括的な振返り評価も実施しました。

区分	施策の評価結果	施策	割合
S	計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。	1	3.3%
A	計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。	23	76.7%
B	計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。	6	20.0%
C	計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。	0	0%
D	計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。	0	0%
	計	30	100%

※後期基本計画期間の総括評価は、コロナ禍に伴う影響をはじめ、コロナ禍における取組プロセス、取組実績及び成果を総合的に考慮して行っています。

【事務事業評価】 ※詳細は、「5 分野別計画及び成果」の評価結果を参照

### ◆令和4年度振返り評価結果（対象：107事業）

令和5年度の事務事業評価においては、前期基本計画の体系に基づき、基本計画事業を中心に、前年度の振返り評価を実施しました（基本計画事業97事業＋10事業）。

	◎ 十分な成果を得た	○ 概ね成果を得た	△ 期待した成果を得られず
事業数	53	53	1
割合	49.5%	49.5%	1.0%

※令和4年度の実績評価は、コロナ禍の影響を考慮しつつ、実際に取り組んだ内容についての評価を実施しています。

＜実績評価別で見た今後の事業の方向＞

	◎ 十分な成果を得た	○ 概ね成果を得た	△ 期待した成果を得られず
有効性改善	20	24	0
効率性改善			
財政面改善			
参加と協働改善			
現状継続	33	29	1

成果が得られている中であっても、多くの事業において、今後における改善の余地があるため、更なる成果の向上に向けて、評価結果に基づく見直し、改善等の取組を継続的に推進していくことが必要です。